

## 全国小・中学校作文コンクール 入選 菱田小学校 渡辺君

第60回全国小・中学校作文コンクールの県審査で、県知事賞を受賞した菱田小学校1年渡辺彰仁君の作品が、中央審査の結果入選しました。

12月4日（土）に東京で行なわれた受賞式に参加し、同8日（水）に町長室を訪れ、受賞報告を行ないました。

この作品は、絵本の主人公へ向けて手紙のつもりで母親への気持ちを素直に綴ったもので、家族に対する愛情がとてもよく表現されています。

渡辺君は、『本を読むことや絵を描くことが大好き。将来は、絵本作家になりたい』と夢を話してくれました。



▲渡辺君の作品は、『広報おおさき11月号』で紹介しています。

## 人権教育啓発講演会 ～人権の重要性を感じて～

12月5日（日）、中央公民館において、人権教育啓発講演会が開催されました。

日本教育カウンセラー協会鹿児島支部代表の石塚勝郎氏を招き、『共に生きる心で』と題した講演が行なわれました。

石塚さんは、講演のなかで「差別とは、人間の尊厳を傷つけ人間の自由を奪い、人間の平等を侵害することであり、差別をしないためには、自らの差別心に気づく自己認識と、人権侵害をしない自分づくりに努めることが大切である」と訴えました。

当日は、アトラクションとしてピアノ演奏や合唱も行なわれました。

また、人権標語コンクールの表彰式なども行なわれ、参加者は“人権”について、改めて考え直すきっかけとなりました。



▲ひとり一人が、『思いやりの心』と『かけがえのない命』を大切にすることが今まさに求められています。

## 思いやりの心を大切に ～人権について考えよう～

国際連合が定める人権デー（12月10日）を最終日とする1週間を『第62回人権週間』として、人権啓発活動が行なわれました。

その活動の一環として、2日（木）に曾於部会人権キャラバン隊が本町を訪れました。

本町擁護委員の北村厚義さんが、住民の皆様へ人権問題に対する理解を深めてもらうためのメッセージを伝達しました。

人権とは、すべての人が生まれながらに持っている、幸せに生きていくための権利です。あらゆる差別や偏見をなくし、みんなが明るく暮らせる社会をつくるために、もう一度、身近なことから人権を考えてみてください。



▲曾於部会人権キャラバン隊が役場を訪れメッセージを届けました。